

## 著者



ライアン・O・サイカイン CFA  
シニア・バイス プレジデント  
ETF ストラテジスト  
ファーストトラスト  
アドバイザーズ L.P.

## 共著者

アンドリュー・ハル CFA  
バイス プレジデント  
ETF ストラテジスト  
ファーストトラスト  
アドバイザーズ L.P.  
ロバート・ファッタ  
ETF ストラテジスト補佐  
ファーストトラスト  
アドバイザーズ L.P.

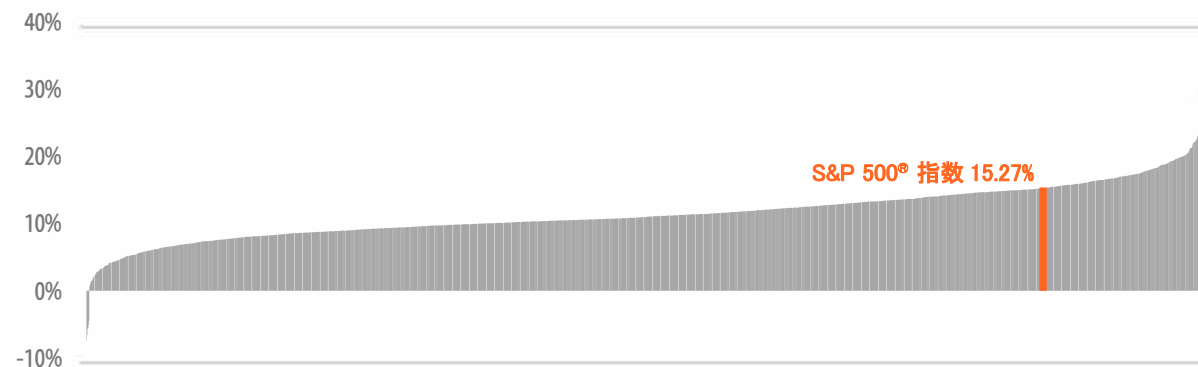
## テーマ別ETFの台頭

テーマ投資は、変革的で長期的なトレンドの長期的な成長の可能性を活用しようとする投資専門家にとって不可欠なツールとして浮上しています。モーニングスターのデータによると、過去10年間で、テーマ別上場投資信託(ETF)の資産は230億ドルから2,260億ドル(2015/9/30-2025/9/30)とほぼ10倍に増加しました。以下では、金融専門家やポートフォリオマネージャーによるこの採用を促進するいくつかの要因と、テーマ投資を顧客のポートフォリオに統合するための実際的な考慮事項に焦点を当てます。

### 強固なベンチマークの追求

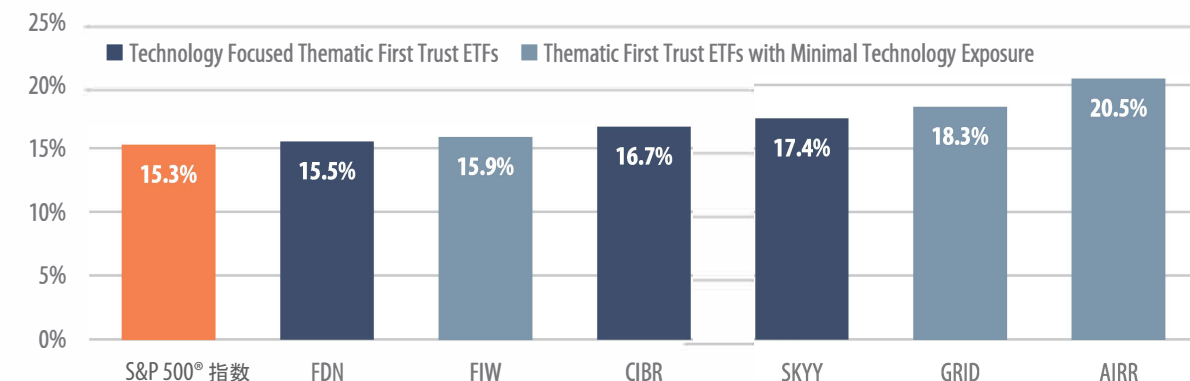
ここ数年、S&P500®指数をアウトパフォームすることは、投資専門家にとって困難な課題でした。モーニングスターのデータによると、2025年9月30日までの10年間で、米国株式、およびセクター投資信託とETFのわずか15%がこの偉業を達成しました(図表1)。したがって、アウトパフォームの追求は、テーマ別ETFの人気の高まっている主な理由を浮き彫りにしていると私たちは考えています。過去10年間に遅れをとったテーマ別ETFは確かにありましたが、注目すべきアウトパフォームもありました。ご想像のとおり、後者のグループにはテクノロジーに焦点を当てたテーマがいくつか含まれていましたが、テクノロジーセクターへのエクスポージャーを最小限に抑えたさまざまなテーマ別ETFも含まれていました(図表2)。

図表1: 米国株式、セクター投資信託、およびETF10年間の年率トータルリターン(2025年9月30日)



出典: モーニングスター。データは2025年9月30日時点。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。最終ページの指数定義をご参照ください。

図表2: 10年間の年率トータルリターン (2025/9/30)



引用されているパフォーマンスデータは過去のものです。過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) から確認できます。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書を手入するには、First Trust Japan ([www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp))にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

特定の証券に関する情報は、売買の推奨を目的とするものではなく、また、利益性を保証するものではありません。

過去10年にS&P 500®をアウトパフォームした、テクノロジーに焦点を当てたテーマ型ファーストトラストETFには、以下のものが含まれます。

- ・ **ファーストトラストダウジョーンズインターネット指数ファンド(FDN)**は業界で最も古くからあるテーマ型ETFの1つ(2006年6月19日設定)で、「インターネット・サービス」、または「インターネット・コマース」のいずれかに分類される株式ポートフォリオに連動します。FDNは、Amazon、Meta、Netflix、Alphabetといった著名な既存(有力)企業に加え、RobloxやCocacolaなどの新興企業へのエクスポージャーを提供します。
- ・ **ファーストトラストクラウドコンピューティングETF(SKYY)**はサービスとしてのインフラ、(IaaS)、サービスとしてのプラットフォーム(PaaS)、およびサービスとしてのソフトウェア(SaaS)を提供する企業を対象としています。SKYYにはIBM、およびOracleなどの大手テクノロジー株数銘柄への組み入れに加え、CoreWeave や AppLovinといった新興企業も含まれます。
- ・ **ファーストトラストナスダック サイバーセキュリティETF(CIBR)**は、サイバーセキュリティハードウェア、ソフトウェア、サービスを提供する企業へのエクスポージャーを提供し、今日のデジタル環境において重要なニーズとなっています。CIBRは、CloudflareやOktaのようなサイバーセキュリティ製品やサービスから収益を得ている「純粋な」サイバーセキュリティ企業、およびBroadcomやCiscoのような重要なサイバーセキュリティソリューションを持つ大手テクノロジー企業を保有します。

過去10年間でS&P 500®指数を上回り、テクノロジーへのエクスポージャーが最小限のテーマ型ファーストトラストETFです。:

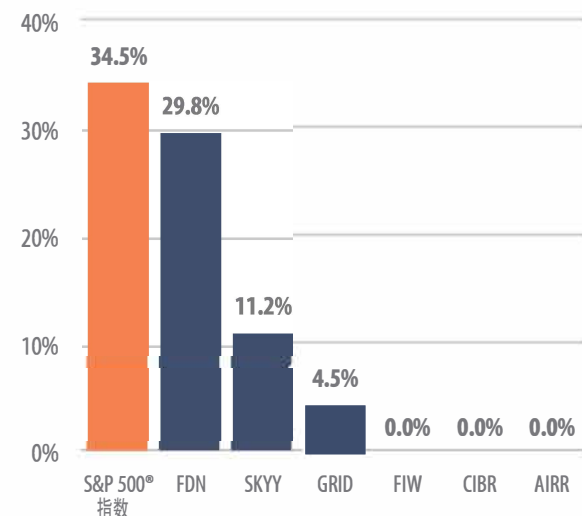
- ・ **ファーストトラストRBA 米国産業ルネサンスETF(AIRR)**は、米国経済の再工業化に焦点を当て、国内売上の75%以上を占める収益性の高い中小企業株に配分し、米国の地域銀行にも少量配分しています。(上限10%)過去数年間、米国で新工場やデータセンターの建設が急増したことで、いくつかの持株会社が恩恵を受けています。
- ・ **ファーストトラストNASDAQ® クリーンエッジ®スマートグリッドインフラインデックスファンド(GRID)**は、世界中の電力網の近代化と拡大に関わる企業に投資しています。ブルームバーグの推計によると、2025年から2050年までの世界的な電力網への累積支出は15.8兆ドルに達する可能性があります。
- ・ **ファーストトラストウォーターETF(FIW)**は、飲料水、および廃水業界から大きな収益を生み出している企業を対象としており、水質検査機器からメーター、バルブ、ポンプ、配管に至るまで多岐にわたります。住宅用水インフラに加え、近年の産業用水需要も成長の重要な原動力となっています。

## エクスポージャーの成長拡大(マグニフィセント7を超えて)

私達の見解では、テーマ別ETFのもう一つの魅力的な特徴は、従来のベンチマーク指数と比べて差別化されたエクスポージャーを提供する点です。例えば、2025年9月30日時点で、S&P 500®指数は、いわゆる「マグニフィセント7」(Mag 7)銘柄に34.5%を割り当てており、これらの銘柄はS&P 500®グローバル・インデックスでさらに高い47.8%の比率を占めました。<sup>1</sup> これらの銘柄のダブルダウンを懸念する多くの投資家は、CIBR、AIRR、GRID、FIWなど魅力的な選択肢を含む、マグ7エクスポージャーがほとんどない、もしくは全くないテーマ型ETFを見つけています(チャート3)。

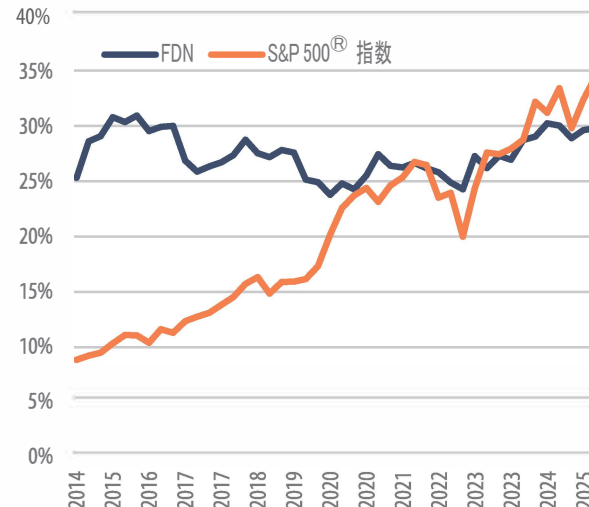
上記のリストの中でMag 7へのエクスポージャーが大きいテーマ別ETFの一つにFDNがあり、2025年9月30日時点で約30%がこれらの銘柄に割り当てられています。FDNは、特定の長期成長株が広範な市場指数で高く評価される前にエクスポージャーを得る利点を歴史的に示しています。2014年末時点で、Mag 7銘柄がS&P 500®の約9%を占めていた時点で、FDNはすでにポートフォリオの25%以上をこれらの銘柄に割り当てていました。それ以降、これらの銘柄がS&P 500®指数でより際立つようになり、この比率は非常に高く維持されています(チャート4)。

図表3: マグニフィセント7への比重 (2025年9月30日時点)



出典: ブルームバーグ。データは9月30日時点。

図表4: マグニフィセント7への比重: FDN 対 S&P 500® 指数



出典: ブルームバーグ。データは9月30日時点。

<sup>1</sup>「マグニフィセント7」の企業には Alphabet、Amazon、Apple、Meta Platforms、Microsoft、Nvidia と Teslaが含まれます。ファーストトラストETF 保有データは2025年9月30日時点であり、変更される可能性があります。特定の証券に関する情報は、売買の推奨を目的とするものではなく、また、利益性を保証するものではありません。

テーマ投資の原則

私達の見解では、人間の行動はしばしばテーマ投資の可能性を妨げています。よくある落とし穴には、市場のタイミングを狙う、より広範なポートフォリオにおけるテーマ別ETFの役割を誤解する、過剰(または不十分な)リスクテイク、そして関連度が高いテーマに過度に注目する等です。以下、テーマ投資家がこれらの高額なミスを避けるための実践的な考慮事項を紹介します。

- 投資主張と時間的視野を明確にする – 私たちの見解では、明確に定義された投資主張と時間的視野こそが、成功するテーマ型投資の基盤となり、意思決定を導き、行動の誤りを制限します。市場の動きの変化や新たな技術開発には、テーマの成長要因や展望の定期的な再評価が必要になることもあります。長期的なテーマから急激な利益を追い求める投資家は、パフォーマンスが遅いと失望するかもしれません。テーマのタイムラインに沿った明確なエントリーとエグジットポイントを設定することで、投資家は衝動的な市場のタイミングや早期エグジットといった行動の罠を回避できます。
- セクターバイアスやその他の傾向の分析 – テーマ型ETFは、慎重に評価しなければ、予想外のセクターや地域バイアスを生み出し、投資家の資産配分を損なう可能性があります。ETFの基礎となる保有銘柄を分析し、それがポートフォリオ配分に与える影響を考慮することで、金融専門家は過剰集中や資産配分の不一致を回避できます。
- リスクとリターンのバランス – ダイナミックで高成長の機会を捉えることを目的としたテーマ別ETFは、慎重なリスク管理が求められることが多いです。資産配分内でリスクの高いテーマ別のETFをバランスさせる戦略の一つは、ファーストトラストのTarget Outcome®のような低ベータファンドと組み合わせることにより、市場リスクの低減と下落リスクの一部を保護することができます。このバランスの取れたアプローチにより、投資家はポートフォリオの目標に沿ったリスクレベルを維持しつつ、成長を追求できる可能性があります。
- 過剰リターンの多様化 – 人工知能(AI)、クラウドコンピューティング、サイバーセキュリティなどの情報技術の革新が多くの長期的成長トレンドを牽引していますが、水インフラやバイオテクノロジーなど他のテーマでも平均以上のリターンの可能性が存在します。経済の減速や金利上昇といった広範な市場要因がすべてのテーマに影響を与えるかもしれませんが、異なる要因によって異なるテーマの形が異なります。例えば、アルファレンスやロボティクスは生産性の向上、老朽化した配管や工業用水需要の増加に対する水道インフラ、そして科学的ブレークスルー、規制決定、M&A活動によるバイオテクノロジーの発展が、それぞれ広い市場との相関が異なることで繁栄するかもしれません。相関のない要因を持つテーマ間で分散投資することで、投資家は一つのセクターに過度に集中しつつリターンを高める可能性があります。

私たちの見解では、過去数年間の米国株式市場の強いパフォーマンスは、主にインターネット、クラウドコンピューティング、そして最近では人工知能といった強力なテーマの繁栄によるものです。その結果、過去10年の勝者は広範な市場ベンチマークにおける大きな配分を占めています。しかし、先見の明のある投資家にとって重要な問いは、今後10年間で成長を牽引しつつ、現在は広域指数でのエクスポージャーが殆どないテーマや銘柄はどれかということです。今後は分かるでしょうが、テーマ別のETFが将来の市場リーダーへのエクスポージャーを目指す投資家にとって有用なツールだと私達は信じています。

特定の証券に関する情報は、売買の推奨を目的とするのではなく、また、利益性を保証するものではありません。

パフォーマンス概要(%) 2025年9月30日時点30日時点

AIRR パフォーマンス*	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	SFI
基準価額(NAV)	18.84	25.84	30.04	36.63	30.60	20.51	14.89
市場価格	18.84	25.84	29.91	36.58	30.60	20.53	14.89
指数パフォーマンス**							
Richard Bernstein Advisors American Industrial Renaissance® Index	19.07	26.57	31.05	37.67	31.58	21.39	15.76
S&P 500® Industrials Index	5.02	18.38	15.69	25.12	16.82	13.79	11.68
Russell 2500™ Index	9.00	9.48	10.16	15.65	12.09	10.52	8.77
S&P 500® Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	13.64

AIRR ファンド設定日: 2014年3月10日。総経費率0.70%。投資アドバイザーは、特定の資産レベルでファンドの投資運用手数料を削減する手数料ブレイクポイントを導入しています。詳細はファンドの追加情報説明書をご参照ください。

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) から確認できます。

SFI = 設定来

\*基準価額(NAV)リターンは、ファンドの純資産(資産から負債を差し引いたもの)をファンドの発行済み株数で割った基準価額(NAV)に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額(NAV)リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。  
\*\*掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

パフォーマンス概要(%) 2025年9月30日時点30日時点

CIBR Performance*	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	SFI
基準価値 (NAV)	0.60	19.99	28.49	25.84	17.35	16.70	14.55
市場価値	0.61	19.96	28.66	25.89	17.35	16.71	14.56
指数パフォーマンス*							
Nasdaq CTA Cybersecurity™ Index	0.76	20.55	29.30	26.65	18.12	17.52	15.35
S&P Composite 1500® Information Technology Index	13.18	21.92	27.70	39.62	23.07	24.76	23.57
S&P 500® Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	14.15

CIBR ファンド設定日: 2015年7月6日。総経費率0.59%。投資アドバイザーは、特定の資産レベルでファンドの投資運用手数料を削減する手数料ブレイクポイントを導入しています。詳細はファンドの追加情報説明書をご参照ください。

FDN パフォーマンス*	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	SFI
基準価値(NAV)	3.93	14.97	32.07	30.41	8.25	15.52	14.69
市場価値	3.93	14.92	32.02	30.40	8.25	15.53	14.69
指数パフォーマンス**							
Dow Jones Internet	4.06	15.41	32.76	31.04	8.79	16.14	15.30
Composite Index <sup>SM</sup> S&P	13.18	21.92	27.70	39.62	23.07	24.76	17.31
Composite 500® Information Technology Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	11.27
S&P 500® Index							

FDN ファンド設定日: 2006年6月19日。総経費率0.49%、純経費率0.49%。経費は契約上、少なくとも2026年4月30日まで年間0.60%に上限が設けられています。

FIW パフォーマンス*	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	SFI
基準価値(NAV)	4.06	10.58	3.56	16.96	13.93	15.88	10.66
市場価値	4.07	10.54	3.57	16.92	13.94	15.88	10.66
指数パフォーマンス**							
ISE Clean Edge Water™ Index	4.22	11.03	4.12	17.62	14.69	16.57	11.36
Russell 3000® Index	8.18	14.40	17.41	24.12	15.74	14.71	10.31

FIW ファンド設定日: 2007年5月8日。総経費率0.51%、純経費率0.51%。経費は契約上、少なくとも2026年4月30日まで年間0.60%に上限が設けられています。

GRID パフォーマンス*	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	SFI
基準価値 (NAV)	8.90	27.34	20.08	27.51	20.41	18.27	11.92
市場価格	8.85	27.79	20.04	27.67	20.44	18.36	11.93
指数パフォーマンス**							
Nasdaq Clean Edge Smart Grid Infrastructure™ Index	9.33	28.08	20.84	28.11	21.26	19.18	12.80
MSCI World Industrials Index	4.70	23.11	17.64	26.45	14.89	12.31	10.77
Russell 3000® Index	8.18	14.40	17.41	24.12	15.74	14.71	13.83
S&P Composite 1500® Industrials Index	5.62	17.13	14.84	24.91	17.11	14.00	13.58

GRID ファンド設定日: 2009年11月6日。総経費率0.56%、純経費率0.56%。経費は契約上、少なくとも2026年1月31日まで年間0.70%に上限が設けられています。

SKYY パフォーマンス*	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	SFI
基準価値(NAV)	10.49	12.87	31.34	30.62	11.58	17.36	14.57
市場価格	10.52	12.86	31.37	30.61	11.59	17.37	14.57
指数パフォーマンス**							
ISE CTA Cloud Computing™ Index	10.68	13.41	32.18	31.44	12.25	18.01	15.23
S&P Composite 1500® Information Technology Index	13.18	21.92	27.70	39.62	23.07	24.76	21.02
S&P 500® Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	14.08

SKYY ファンド設定日: 2011年7月5日。総経費率0.60%。投資アドバイザーは、特定の資産レベルでファンドの投資運用手数料を削減する手数料ブレイクポイントを導入しています。詳細はファンドの追加情報説明書をご参照ください。

**引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) から確認できます。**

SFI = 設定来

\*基準価値(NAV)リターンは、ファンドの純資産(資産から負債を差し引いたもの)をファンドの発行済み株数で割った基準価値(NAV)に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価値(NAV)リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

\*\*掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。



## リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

クラウドコンピューティング企業への投資に関連するリスクには、サービスの中断または遅延、機密情報、専有情報、機密情報を含むセキュリティ侵害、プライバシーに関する懸念と法律、およびそのような企業に運営制限または影響を与える可能性のあるその他の規制が含まれます。

通信サービス企業は、急速に変化するテクノロジー、製品ライフサイクルの短さ、激しい競争、厳しい価格設定と利益率の低下、特許の喪失、著作権や商標の保護、周期的な市場パターン、進化する業界標準、暫し予測不可能な消費者の嗜好の変化、頻繁な新製品の導入など、特定のリスクにさらされています。このような企業は、国内外の政府規制の影響を受けやすく、知的財産権に大きく依存しているため、それらの権利の喪失や減損によって悪影響を受ける可能性があります。

コミュニティバンクは、米国のサブプライム住宅ローン市場の減少により大きな影響を受け、立法、および規制の変更、短期、および長期金利の変更、インフレ、政府の金融や財政政策の変化がもたらされました。地理的に分散した大規模な全国銀行や地域銀行とは異なり、コミュニティバンクの財務パフォーマンスは米国の特定の地理的地域のビジネス環境に大きく依存し、地域市場や米国全体の景気後退や不利な経済、および雇用動向によって悪影響を受けることがあります。

一般消費財企業の成功は、米国および国際経済全体の業績、金利、競争、消費者信頼感、可処分家計所得、消費者支出と密接に結びついています。人口動態や消費者の嗜好の変化も、一般消費財商品の需要に影響を与える可能性があります。

為替レートや米国以外の通貨の相対価値の変動は、ファンドの投資価値やファンドの株式の価値に影響を与える可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

預託証券は、主要な取引市場における原資産株式よりも流動性が低く、分配金には手数料がかかる場合があります。保有者は議決権が限られている場合があり、特定の国における投資制限がその価値に悪影響を及ぼす可能性があります。

株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、特定の国、企業、業界、または市場のセクターのみで発生する場合もあります。

欧州諸国における政治的または経済的な混乱は、ファンドが投資されていない国であっても、セキュリティ価値、ひいてはファンドの保有に悪影響を及ぼす可能性があります。欧州の相当数の国が欧州連合の加盟国であり、加盟国はもはや自国の金融政策をコントロールしていません。これらの加盟国では、通貨供給量やユーロの公定歩合などの金融政策を指示する権限は、欧州中央銀行によって行使されています。英国の欧州連合（EU）離脱の影響を測定するのは困難であり、まだ完全に把握することはできません。

指数連動ファンドは、指数が集中している範囲で、業界または業界のグループに集中します。単一の資産クラスへのエクスポージャーが大きいファンド、または同じ国、州、地域、業界、セクター内の発行体の証券は、広く分散されたファンドよりも、経済、ビジネス、または政治の不利な発展によってその価値がより影響を受ける可能性があります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模や変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

指数プロバイダーまたはその代理人が指数を正確にコンパイルまたは維持する保証はありません。指数プロバイダーのエラーに伴う損失やコストは、通常、ファンドとその株主が負担します。

工業および耐久消費財メーカーは、一般的な経済状況、激しい競争、統合、国内外の政治、過剰生産能力、消費者の需要と支出傾向など、特定のリスクにさらされています。また、全体的な資本支出水準、景気サイクル、技術の陳腐化、近代化の遅れ、労使関係、政府規制などによっても大きな影響を受ける可能性があります。

情報技術企業は、急速に変化する技術、短い製品ライフサイクル、激しい競争、厳しい価格設定と利益率の低下、特許の損失、著作権や商標の保護、周期的な市場パターン、進化する業界基準と規制、頻繁な新製品の導入など、特定のリスクにさらされています。

多くのインターネット企業は創業以来、多額の損失を出しており、市場シェアの獲得と、将来の収益を生み出すことを期待して、今後も損失が続く可能性があります。したがって、そのような企業の多くは、予見可能な将来に大幅な営業損失を出すことが予想され、利益を上げることがない可能性があります。

大規模な資本企業は、市場全体よりも成長速度が遅い可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメイカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

指数連動ファンドのリターンは、運用費用、指数の変化を反映するための証券の売買コスト、ファンドのポートフォリオ保有が指数を正確に再現していない可能性があるという事実など、さまざまな理由で指数のリターンと一致しない場合があります。

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する場合があります。その結果、ファンドは、これらの発行体の1社もしくは複数社に影響を与える単一の経済的または規制上の不利な事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが増加し、特定の発行体に高く集中する可能性があります。

米国以外の証券発行体は、通貨の変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な財務情報の欠如、米国外の発行体に影響を与える為替管理の制限など、さらなるリスクにさらされています。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々は運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カस्टディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

指数に含まれる、または指数を代表する証券に投資するファンドは、投資メトリックに関係なくそれらの証券を保有し、通常ファンドが下落相場で守りのポジションを取りません。

回転率の高いポートフォリオは取引コストの水準が高くなり、株主の税金負担が大きくなる可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

中小資本企業の証券は、より大規模で確立された企業よりも価格の変動が大きく、流動性が低下する可能性があります。

スマートグリッド企業は、研究開発コストの高騰、導入に必要な高い資本要件、政府の規制、新技術を導入する産業および公益事業会社の能力制限、および新製品が既存産業に浸透できるかどうかの不確実性によって悪影響を受ける可能性があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

中国では、外国籍の個人や団体が特定部門の企業を直接所有することは禁止されています。こうした事業への外国投資を可能にするために、多くの中国企業は、間接的な外国所有を可能にする変動持分事業体（VIE）構造を設立しました。VIEは中国の法律では正式に認められていません。VIEに関する中国政府の介入は、中国企業の業績と、中国企業とファンドが投資するシェル企業との間のリンクを確立するVIEの契約上の取り決めの執行可能性に大きな影響を与える可能性があります。VIEは、基礎となる中国の発行体または事業会社に関連する投資リスクにも左右されます。中国企業は、先進国の企業と同程度の規制要件や会計基準、監督の対象ではありません。その結果、当ファンドが投資する中国の証券およびVIEに関する情報は、信頼性が低く、不完全になる可能性があります。

*Risks continue on the following page*

## リスクに関する考慮事項(続き)

水道会社は、水の利用可能性、降雨量、その他の気候および環境の変動、水消費量と節水の変化によって大きな影響を受ける可能性があります。また、水道会社は、政府の規制や支出の変化、技術の進歩、インフレ率、金利、原材料費の上昇によっても悪影響を受ける可能性があります。水道会社は、環境破壊、資源の枯渇、水利権をめぐる地域社会との紛争、および安全と汚染防止のための義務的な支出に対して責任を負う可能性があります。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファーストトラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供したりものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

Nasdaq®, Clean Edge®, Nasdaq OMX®, およびNasdaq CTA Cybersecurity™指数、ISE Clean Edge Water指数、Nasdaq Clean Edge Smart Grid Infrastructure™指数、ISE CTA Cloud Computing™指数(「Nasdaq Indexes」)は、それぞれNasdaq, Inc.およびClean Edge, Inc.(以下、その関連会社と総称して「企業」)の登録商標およびサービスマークであり、First Trustによる使用を許可しています。本ファンドは、企業により発行、保証、販売または販売促進されていません。企業はファンドに関していかなる保証も行わず、いかなる責任も負いません。

の商標および商号です。本ファンドは、RBAが後援、承認、販売、または宣伝するものではなく、RBAは、本ファンドの所有者または一般市民に対して、本ファンドでの取引の妥当性について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。RBAとファースト・トラストの唯一の関係は、RBAおよび指数の特定の商標および商号のライセンス供与であり、これらはファースト・トラストやファンドとは無関係にRBAによって決定および構成されます。RBAは、指数を決定または構成する際に、ファースト・トラストまたはファンドの所有者のニーズを考慮する義務を負いません。RBAは、上場されるファンドの時期、価格、数量の決定、またはファンドを現金に換金する方程式の決定または計算について責任を負わず、また、その決定に関与していません。RBAは、ファンドの管理、マーケティング、または取引に関連して、いかなる義務も責任も負いません。

Dow Jones Internet Composite Index™(以下「指数」)は、S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJ」)の商品であり、ファーストトラストが使用ライセンスを取得しています。S&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標であり、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。また、これらの商標は、SPDJが使用を許諾し、ファーストトラストが特定の目的のためにサブライセンスを取得しています。ファンドは、SPDJ、ダウ・ジョーンズ、S&P、またはそれぞれの関連会社が後援、承認、販売、または宣伝するものではなく、これらの関係者は、そのような商品への投資の妥当性についていかなる表明も行わず、指数のエラー、脱落、または中断について一切の責任を負いません。

## 定義

MSCIワールド指数は、世界の23の先進国市場の株式市場のパフォーマンスを測定するために設計された、浮動株調整後の時価総額加重指数です。

ラッセル2500®指数は、ラッセル3000指数の最小2,500社を含む、運用されていない時価総額加重指数です。

ラッセル3000®指数は、米国を拠点とし、取引されている最大かつ最も流動性の高い3000銘柄で構成されています。

S&P 500®指数は、米国株式市場の大型株のパフォーマンスを測定するために使用される500社から構成される非管理指数です。

S&P 500®成長指数には、S&P 500指数の成長特性を持つ証券が含まれています。

S&P 500®工業株指数は、S&P 500指数の工業セクターの株式を含む非運用指数です。

S&Pコンポジット1500®工業株指数は、GICSがS&Pコンポジット1500指数のインダストリアルに分類した企業の時価総額加重指数です。

S&Pコンポジット1500®情報技術指数は、GICSがS&P総合1500指数の情報技術として分類した企業の時価総額加重指数です。

## Author:



Ryan O. Issakainen, CFA  
Senior Vice President  
ETF Strategist  
First Trust Advisors L.P.

## Co-authors:

Andrew Hull, CFA  
Vice President  
ETF Strategist  
First Trust Advisors L.P.

Roberto Fatta  
Associate ETF Strategist  
First Trust Advisors L.P.

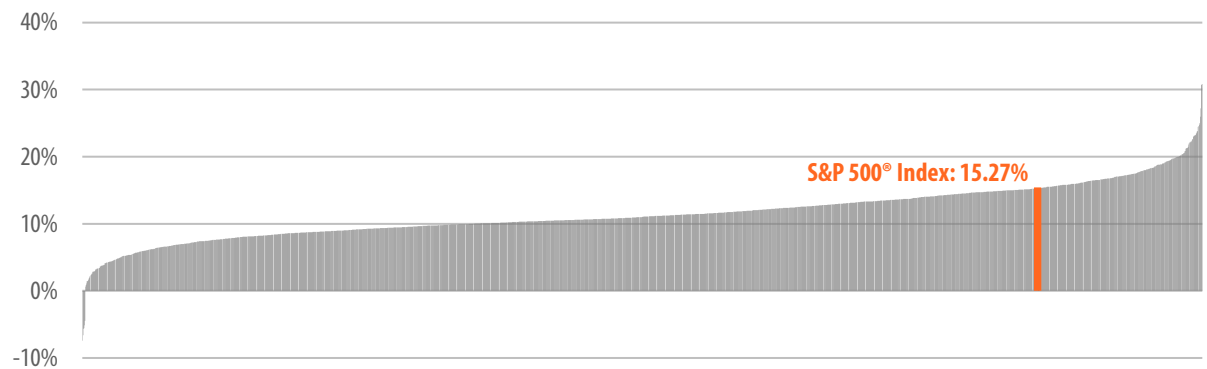
## The Rise of Thematic ETFs

Thematic investing has emerged as a vital tool for investment professionals seeking to capitalize on the long-term growth potential of transformative, secular trends. Over the past decade, assets in thematic exchange-traded funds (ETFs) have increased nearly tenfold from \$23 billion to \$226 billion (9/30/15-9/30/25), according to Morningstar data. Below, we highlight some of the forces driving this adoption by financial professionals and portfolio managers, alongside practical considerations for integrating thematic investments into client portfolios.

### In Pursuit of a Formidable Benchmark

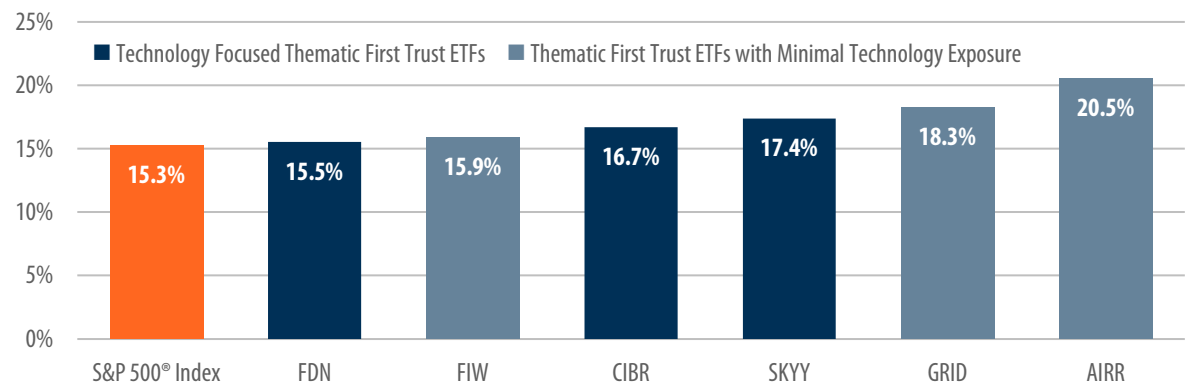
For the last several years, outperforming the S&P 500® Index has been a daunting challenge for investment professionals. According to Morningstar data, just 15% of U.S. equity and sector mutual funds and ETFs accomplished this feat over the decade ending 9/30/25 (Chart 1). Hence, the pursuit of outperformance underscores a key reason for the growing popularity of thematic ETFs, in our view. While there were certainly thematic ETFs that lagged over the past decade, there were also some notable outperformers. As one might expect, the latter group included several technology-focused themes, however, it also included a variety of thematic ETFs with minimal exposure to the technology sector (Chart 2).

**Chart 1: U.S. Equity and Sector Mutual Funds and ETFs Annualized 10 Year Total Returns (9/30/25)**



Source: Morningstar. Data as of 9/30/2025. **Past performance is no guarantee of future results.** Please see index definitions on the last page.

**Chart 2: Annualized 10-Year Total Returns (9/30/25)**



Source: Morningstar. Data as of 9/30/2025. **Past performance is no guarantee of future results.** Please see index definitions on the last page.

**Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting [www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com).**

**You should consider a fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Portfolios L.P. at 1-800-621-1675 or visit [www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com) to obtain a prospectus or summary prospectus which contains this and other information about a fund. The prospectus or summary prospectus should be read carefully before investing.**

References to specific securities should not be construed as a recommendation to buy or sell and should not be assumed profitable.

Technology-focused thematic First Trust ETFs that outperformed the S&P 500® Index over the past decade included:

- **First Trust Dow Jones Internet Index Fund (FDN)** is one of the oldest thematic ETFs in the industry (inception on 6/19/2006), tracking a portfolio of stocks classified as either “Internet Service” or “Internet Commerce.” FDN provides exposure to well-known incumbents like Amazon, Meta, Netflix, and Alphabet, as well as newer companies like Roblox and DoorDash.
- **First Trust Cloud Computing ETF (SKYY)** targets companies providing Infrastructure-as-a-Service (IaaS), Platform-as-a-Service (PaaS), and Software-as-a-Service (SaaS). SKYY includes allocations to several large technology stocks, such as IBM and Oracle, alongside newer companies like CoreWeave and AppLovin.
- **First Trust Nasdaq Cybersecurity ETF (CIBR)** provides exposure to companies providing cybersecurity hardware, software, and services, a critical need for today’s digital landscape. CIBR holds “pure play” cybersecurity companies that derive most of their revenue from cybersecurity products and services, such as Cloudflare and Okta, as well as a few large technology companies with significant cybersecurity solutions, such as Broadcom and Cisco.

Thematic First Trust ETFs with minimal technology exposure that outperformed the S&P 500® Index over the past decade:

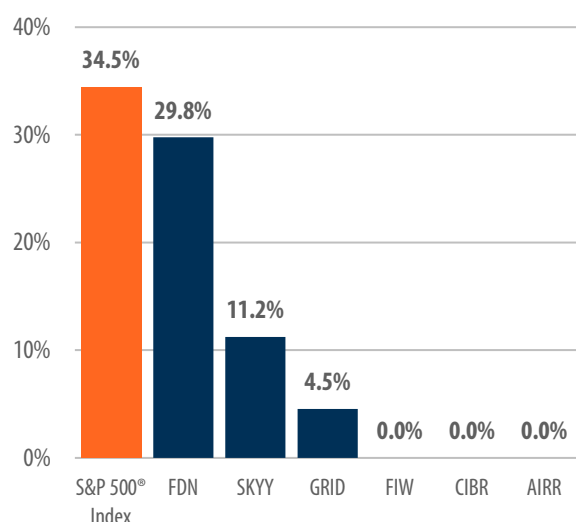
- **First Trust RBA American Industrial Renaissance® ETF (AIRR)** focuses on the reindustrialization of the U.S. economy, allocating to profitable small- and mid-cap US industrial stocks that generate at least 75% of sales domestically, as well as a small allocation to US regional banks (capped at 10%). Several holdings have benefitted from a surge in the construction of new factories and data centers in the US over the past few years.
- **First Trust NASDAQ® Clean Edge® Smart Grid Infrastructure Index Fund (GRID)** invests in companies involved in the modernization and expansion of power grids around the world. According to Bloomberg estimates, cumulative spending on power grids may total \$15.8 trillion globally from 2025-2050.
- **First Trust Water ETF (FIW)** targets companies that generate significant revenue from the potable and wastewater industry, ranging from water quality testing equipment to meters, valves, pumps, and pipes. In addition to residential water infrastructure, industrial demand for water has become an important driver of growth in recent years.

## Expanding Growth Exposure (Beyond the Magnificent 7)

Another attractive feature of thematic ETFs, in our view, is the differentiated exposure many provide compared to traditional benchmark indices. For example, as of 9/30/25, the S&P 500® Index allocated 34.5% to the so-called “Magnificent 7” (Mag 7) stocks, while these same stocks accounted for an even higher 47.8% weighting in the S&P 500 Growth® Index.<sup>1</sup> Many investors concerned about doubling down on these stocks have found thematic ETFs with little or no Mag 7 exposure—including CIBR, AIRR, GRID, and FIW—to be compelling options (Chart 3).

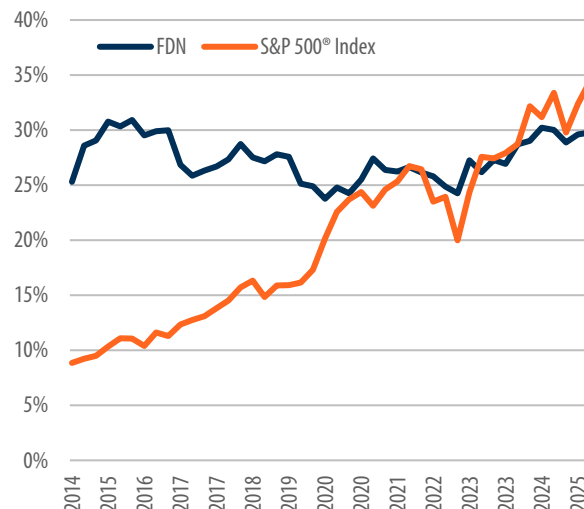
One thematic ETF from the list above that does have significant Mag 7 exposure is FDN, with roughly 30% allocated to three of these stocks, as of 9/30/25. FDN provides a historical illustration of the benefits of gaining exposure to certain secular growth stocks before they become well-represented in broad market indices. At the end of 2014, when the Mag 7 stocks constituted around 9% of the S&P 500, FDN already had over 25% of its portfolio allocated to some of these stocks. Since then, it has maintained a significant weight as these names have grown more prominent in the S&P 500® Index (Chart 4).

Chart 3: Weight to the Magnificent 7 (9/30/2025)



Source: Bloomberg. Data as of 9/30/2025.

Chart 4: Weight to the Magnificent 7: FDN vs. S&P 500® Index



Source: Bloomberg. Data as of 9/30/2025.

<sup>1</sup>Magnificent 7 companies include Alphabet, Amazon, Apple, Meta Platforms, Microsoft, Nvidia, and Tesla.

First Trust ETF holdings data is as of 9/30/25 and subject to change.

References to specific securities should not be construed as a recommendation to buy or sell and should not be assumed profitable.



## Principles of Thematic Investing

In our opinion, human behavior often sabotages the potential of thematic investing. Common pitfalls include attempting to time the market, misunderstanding the role of thematic ETFs within broader portfolios, excessive (or insufficient) risk taking, and concentrating too much on highly correlated themes. Below, we offer practical considerations for thematic investors to help avoid these costly mistakes.

- **Clarify Investment Thesis and Time Horizon** – In our view, a well-defined investment thesis and time horizon forms the bedrock of successful thematic investing, guiding decisions and limiting behavioral errors. Shifting market forces and new technological developments may also require periodic reassessments of a theme's growth drivers and outlook. Investors chasing quick gains from long-term themes may face disappointment if performance is slow to materialize. By establishing clear entry and exit points that are aligned with a theme's timeline, investors may avoid behavioral traps like impulsive market timing or premature exits.
- **Analyze Sector Biases and Other Tilts** – Thematic ETFs can sometimes introduce unexpected sector or regional biases that may undermine an investor's overall asset allocation if not carefully evaluated. By analyzing ETFs' underlying holdings, and considering their impact on portfolio allocations, financial professionals may avoid over-concentration or misaligned asset allocation.
- **Balance Risk and Return** – Thematic ETFs that are designed to capture dynamic, high-growth opportunities often call for careful risk management. One strategy for balancing potentially riskier thematic ETFs within an asset allocation is to pair them with lower-beta funds, such as First Trust's Target Outcome ETFs®, which provide reduced market risk and some downside protection. This balanced approach may help investors pursue growth while maintaining a level of risk that is aligned with portfolio objectives.
- **Diversify Excess Returns** – While innovations in information technology, such as artificial intelligence (AI), cloud computing, and cybersecurity, drive many secular growth trends, the potential for above-average returns also exists for other themes like water infrastructure and biotechnology. Broad market factors, like economic slowdowns or rising interest rates, may impact all themes, but distinct drivers shape various themes differently. For example, AI and robotics may thrive on productivity gains, water infrastructure on aging pipes and rising industrial water demand, and biotechnology on scientific breakthroughs, regulatory decisions, and M&A activity—each with varying correlations to broader markets. By diversifying across themes with uncorrelated drivers, investors can potentially enhance returns while avoiding over-concentration in one sector.

In our view, the U.S. equity market's strong performance over the past several years has largely come from the flourishing of powerful themes, such as the internet, cloud computing, and more recently, artificial intelligence. As a result, the winners of the past decade comprise a large allocation in broad market benchmarks. But a key question for forward-thinking investors is: which themes and stocks will drive growth over the next decade, yet currently have minimal exposure in broad indices? Time will tell, but we believe thematic ETFs are useful tools for investors seeking to gain exposure to some of tomorrow's market leaders.

References to specific securities should not be construed as a recommendation to buy or sell and should not be assumed profitable.

## Performance Summary (%) as of 9/30/25

AIRR Performance*	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	SFI
Net Asset Value (NAV)	18.84	25.84	30.04	36.63	30.60	20.51	14.89
Market Price	18.84	25.84	29.91	36.58	30.60	20.53	14.89
<b>Index Performance**</b>							
Richard Bernstein Advisors American Industrial Renaissance® Index	19.07	26.57	31.05	37.67	31.58	21.39	15.76
S&P 500® Industrials Index	5.02	18.38	15.69	25.12	16.82	13.79	11.68
Russell 2500™ Index	9.00	9.48	10.16	15.65	12.09	10.52	8.77
S&P 500® Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	13.64

AIRR Inception Date: 3/10/2014. Total Expense Ratio: 0.70%. The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details.

**Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting [www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com).**

SFI = Since Fund Inception

\*NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. Market Price returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

\*\*Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

## Performance Summary (%) as of 9/30/25

<b>CIBR Performance*</b>	<b>3 Month</b>	<b>YTD</b>	<b>1 Year</b>	<b>3 Year</b>	<b>5 Year</b>	<b>10 Year</b>	<b>SFI</b>
Net Asset Value (NAV)	0.60	19.99	28.49	25.84	17.35	16.70	14.55
Market Price	0.61	19.96	28.66	25.89	17.35	16.71	14.56

### Index Performance\*\*

Nasdaq CTA Cybersecurity™ Index	0.76	20.55	29.30	26.65	18.12	17.52	15.35
S&P Composite 1500® Information Technology Index	13.18	21.92	27.70	39.62	23.07	24.76	23.57
S&P 500® Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	14.15

**CIBR** Inception Date: 7/6/2015. Total Expense Ratio: 0.59%. The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details.

<b>FDN Performance*</b>	<b>3 Month</b>	<b>YTD</b>	<b>1 Year</b>	<b>3 Year</b>	<b>5 Year</b>	<b>10 Year</b>	<b>SFI</b>
Net Asset Value (NAV)	3.93	14.97	32.07	30.41	8.25	15.52	14.69
Market Price	3.93	14.92	32.02	30.40	8.25	15.53	14.69

### Index Performance\*\*

Dow Jones Internet Composite Index <sup>SM</sup>	4.06	15.41	32.76	31.04	8.79	16.14	15.30
S&P Composite 1500® Information Technology Index	13.18	21.92	27.70	39.62	23.07	24.76	17.31
S&P 500® Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	11.27

**FDN** Inception Date: 6/19/06. Total Expense Ratio: 0.49%. Net Expense Ratio: 0.49%. Expenses are capped contractually at 0.60% per year, at least through April 30, 2026. The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details.

<b>FIW Performance*</b>	<b>3 Month</b>	<b>YTD</b>	<b>1 Year</b>	<b>3 Year</b>	<b>5 Year</b>	<b>10 Year</b>	<b>SFI</b>
Net Asset Value (NAV)	4.06	10.58	3.56	16.96	13.93	15.88	10.66
Market Price	4.07	10.54	3.57	16.92	13.94	15.88	10.66

### Index Performance\*\*

ISE Clean Edge Water™ Index	4.22	11.03	4.12	17.62	14.69	16.57	11.36
Russell 3000® Index	8.18	14.40	17.41	24.12	15.74	14.71	10.31

**FIW** Inception Date: 5/8/2007. Total Expense Ratio: 0.51%. Net Expense Ratio: 0.51%. Expenses are capped contractually at 0.60% per year, at least through April 30, 2026.

<b>GRID Performance*</b>	<b>3 Month</b>	<b>YTD</b>	<b>1 Year</b>	<b>3 Year</b>	<b>5 Year</b>	<b>10 Year</b>	<b>SFI</b>
Net Asset Value (NAV)	8.90	27.34	20.08	27.51	20.41	18.27	11.92
Market Price	8.85	27.79	20.04	27.67	20.44	18.36	11.93

### Index Performance\*\*

Nasdaq Clean Edge Smart Grid Infrastructure™ Index	9.33	28.08	20.84	28.11	21.26	19.18	12.80
MSCI World Industrials Index	4.70	23.11	17.64	26.45	14.89	12.31	10.77
Russell 3000® Index	8.18	14.40	17.41	24.12	15.74	14.71	13.83
S&P Composite 1500® Industrials Index	5.62	17.13	14.84	24.91	17.11	14.00	13.58

**GRID** Inception Date: 11/16/2009. Total Expense Ratio: 0.56%. Net Expense Ratio: 0.56%. Expenses are capped contractually at 0.70% per year, at least through January 31, 2026.

<b>SKYY Performance*</b>	<b>3 Month</b>	<b>YTD</b>	<b>1 Year</b>	<b>3 Year</b>	<b>5 Year</b>	<b>10 Year</b>	<b>SFI</b>
Net Asset Value (NAV)	10.49	12.87	31.34	30.62	11.58	17.36	14.57
Market Price	10.52	12.86	31.37	30.61	11.59	17.37	14.57

### Index Performance\*\*

ISE CTA Cloud Computing™ Index	10.68	13.41	32.18	31.44	12.25	18.01	15.23
S&P Composite 1500® Information Technology Index	13.18	21.92	27.70	39.62	23.07	24.76	21.02
S&P 500® Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	14.08

**SKYY** Inception Date: 7/5/11. Total Expense Ratio: 0.60%. The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details.

**Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting [www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com).**

SFI = Since Fund Inception

\*NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. **Market Price** returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative. The fund's performance may reflect fee waivers and expense reimbursements, absent which performance would have been lower.

\*\*Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

## Risk Considerations

**You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus and Statement of Additional Information for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.**

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

The risks related to investing in cloud computing companies include interruptions or delays in service, security breaches involving sensitive, proprietary and confidential information, privacy concerns and laws, and other regulations that may limit or otherwise affect the operations of such companies.

Communication services companies are subject to certain risks, which may include rapidly changing technologies, short product life cycles, fierce competition, aggressive pricing and reduced profit margins, loss of patent, copyright and trademark protections, cyclical market patterns, evolving industry standards, often unpredictable changes in consumer tastes and frequent new product introductions. Such companies are particularly vulnerable to domestic and international government regulation, rely heavily on intellectual property rights, and may be adversely affected by the loss or impairment of those rights.

Community banks were significantly impacted by the decline in the subprime mortgage lending market in the U.S. which brought about legislative and regulatory changes, changes in short-term and long-term interest rates, inflation and changes in government monetary and fiscal policies. Unlike larger national or other regional banks that are more geographically diversified, a community bank's financial performance may be highly dependent upon the business environment in certain geographic regions of the U.S. and may be adversely impacted by any downturn or unfavorable economic or employment developments in its local market and the U.S. as a whole.

The success of consumer discretionary companies is tied closely to the performance of the overall U.S. and international economies, interest rates, competition, consumer confidence, disposable household income and consumer spending. Changes in demographics and consumer tastes can also affect the demand for consumer discretionary products.

Changes in currency exchange rates and the relative value of non-US currencies may affect the value of a fund's investments and the value of a fund's shares.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Information technology companies and cyber security companies are generally subject to the risks of rapidly changing technologies, short product life cycles, fierce competition, aggressive pricing and reduced profit margins, loss of patent, copyright and trademark protections, cyclical market patterns, evolving industry standards and frequent new product introductions. Cyber security companies may also be smaller and less experienced companies, with limited product lines, markets, qualified personnel or financial resources.

Depository receipts may be less liquid than the underlying shares in their primary trading market and distributions may be subject to a fee. Holders may have limited voting rights, and investment restrictions in certain countries may adversely impact their value.

Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

Political or economic disruptions in European countries, even in countries in which a fund is not invested, may adversely affect security values and thus the fund's holdings. A significant number of countries in Europe are member states in the European Union, and the member states no longer control their own monetary policies. In these member states, the authority to direct monetary policies, including money supply and official interest rates for the Euro, is exercised by the European Central Bank. The implications of the United Kingdom's withdrawal from the European Union are difficult to gauge and cannot yet be fully known.

An index fund will be concentrated in an industry or a group of industries to the extent that the index is so concentrated. A fund with significant exposure to a single asset class, or the securities of issuers within the same country, state, region, industry, or sector may have its value more affected by an adverse economic, business or political development than a broadly diversified fund.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

There is no assurance that the index provider or its agents will compile or maintain the index accurately. Losses or costs associated with any index provider errors generally will be borne by a fund and its shareholders.

Industrials and producer durables companies are subject to certain risks, including the general state of the economy, intense competition, consolidation, domestic and international politics, excess capacity and consumer demand and spending trends. They may also be significantly affected by overall capital spending levels, economic cycles, technical obsolescence, delays in modernization, labor relations, and government regulations.

Information technology companies are subject to certain risks, including rapidly changing technologies, short product life cycles, fierce competition, aggressive pricing and reduced profit margins, loss of patent, copyright and trademark protections, cyclical market patterns, evolving industry standards and regulation and frequent new product introductions.

Many internet companies have incurred large losses since their inception and may continue to incur large losses in the hope of capturing market share and generating future revenues. Accordingly, many such companies expect to incur significant operating losses for the foreseeable future, and may never be profitable.

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

An index fund's return may not match the return of the index for a number of reasons including operating expenses, costs of buying and selling securities to reflect changes in the index, and the fact that a fund's portfolio holdings may not exactly replicate the index.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

A fund that invests in securities included in or representative of an index will hold those securities regardless of investment merit and the fund generally will not take defensive positions in declining markets.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Securities of small- and mid-capitalization companies may experience greater price volatility and be less liquid than larger, more established companies.

Smart grid companies can be negatively affected by high costs of research and development, high capital requirements for implementation, government regulations, limited ability of industrial and utility companies to implement new technologies and uncertainty of the ability of new products to penetrate established industries.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

In China, direct ownership of companies in certain sectors by foreign individuals and entities is prohibited. In order to allow for foreign investment in these businesses, many Chinese companies have created variable interest entities ("VIEs") structures to enable indirect foreign ownership. VIEs are not formally recognized under Chinese law. Intervention by the Chinese government with respect to VIEs could significantly affect the Chinese company's performance and the enforceability of the VIE's contractual arrangements that establish the links between the Chinese company and the shell company in which the Fund invests. VIEs are also subject to the investment risks associated with the underlying Chinese issuer or operating company. Chinese companies are not subject to the same degree of regulatory requirements or accounting standards and oversight as companies in more developed countries. As a result, information about the Chinese securities and VIEs in which the Fund invests may be less reliable and incomplete.

*Risks continue on the following page*

## Risk Considerations (continued)

Water companies can be significantly affected by the availability of water, the level of rainfall and the occurrence of other climatic and environmental events, changes in water consumption and water conservation. Water companies may also be negatively affected by changes in governmental regulation and spending, technological advances and increases in inflation, interest rates or the cost of raw materials. Water companies may be subject to liability for environmental damage, depletion of resources, conflicts with local communities over water rights and mandated expenditures for safety and pollution control.

First Trust Advisors L.P. (FTA) is the adviser to the First Trust fund(s). FTA is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the distributor of the fund(s).

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. By providing this information, First Trust is not undertaking to give advice in any fiduciary capacity within the meaning of ERISA, the Internal Revenue Code or any other regulatory framework. Financial professionals are responsible for evaluating investment risks independently and for exercising independent judgment in determining whether investments are appropriate for their clients.

Nasdaq®, Clean Edge®, Nasdaq OMX®, and Nasdaq CTA Cybersecurity™ Index, ISE Clean Edge Water™ Index, Nasdaq Clean Edge Smart Grid Infrastructure™ Index, ISE CTA Cloud Computing™ Index ("the Nasdaq Indexes") are registered trademarks and service marks of Nasdaq, Inc. and Clean Edge, Inc., respectively (together with its affiliates hereinafter referred to as the "Corporations") and are licensed for use by First Trust. The funds have not been passed on by the Corporations as to their legality or suitability. The funds are not issued, endorsed, sold or promoted by the Corporations. THE CORPORATIONS MAKE NO WARRANTIES AND BEAR NO LIABILITY WITH RESPECT TO THE FUNDS.

Richard Bernstein Advisors and Richard Bernstein Advisors American Industrial Renaissance® Index ("Index") are trademarks and trade names of Richard Bernstein Advisors ("RBA"). The Fund is not sponsored, endorsed, sold or promoted by RBA and RBA makes no representation or warranty, express or implied, to the owners of the Fund or any member of the public regarding the advisability of trading in the Fund. RBA's only relationship to First Trust is the licensing of certain trademarks and trade names of RBA and of the Index, which is determined and composed by RBA without regard to First Trust or the Fund. RBA has no obligation to take the needs of First Trust or the owners of the Fund into consideration in determining or composing the Index. RBA is not responsible for and has not participated in the determination of the timing of, prices at, or quantities of the Fund to be listed or in the determination or calculation of the equation by which the Fund is to be converted into cash. RBA has no obligation or liability in connection with the administration, marketing or trading of the Fund.

The Dow Jones Internet Composite Index<sup>SM</sup> ("Index") is a product of S&P Dow Jones Indices LLC or its affiliates ("SPDJI") and has been licensed for use by First Trust. S&P® is a registered trademark of Standard & Poor's Financial Services LLC ("S&P"); Dow Jones® is a registered trademark of Dow Jones Trademark Holdings LLC ("Dow Jones"); and these trademarks have been licensed for use by SPDJI and sublicensed for certain purposes by First Trust. The Fund is not sponsored, endorsed, sold or promoted by SPDJI, Dow Jones, S&P, or their respective affiliates and none of such parties make any representation regarding the advisability of investing in such product nor do they have any liability for any errors, omissions, or interruptions of the Index.

## Definitions

The **MSCI World Industrials Index** is a free float-adjusted market capitalization-weighted index that is designed to measure the industrials sector performance of 23 developed markets around the world.

The **Russell 2500™ Index** is an unmanaged market-cap weighted index that includes the smallest 2,500 companies from the Russell 3000 Index.

The **Russell 3000® Index** is comprised of the 3000 largest and most liquid stocks based and traded in the U.S.

The **S&P 500® Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance.

The **S&P 500® Growth Index** contains those securities with growth characteristics from the S&P 500 Index.

The **S&P 500® Industrials Index** is an unmanaged index which includes the stocks in the industrials sector of the S&P 500 Index.

The **S&P Composite 1500® Industrials Index** is a capitalization-weighted index of companies classified by GICS as industrials within the S&P Composite 1500 Index.

The **S&P Composite 1500® Information Technology Index** is a capitalization-weighted index of companies classified by GICS as information technology within the S&P Composite 1500 Index.



## ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではありません。記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2025121206

# Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会  
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）  
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp